



Hand down outside-in 法を用いた全内視鏡下腰椎椎間板切除術の検討

2020年4月1日から2022年4月30日までに当院整形外科・リウマチ外科で腰椎椎間板ヘルニアに対して全内視鏡下腰椎椎間板切除術(Hand-down outside-in 法)を施行された患者さん

研究協力をお願い

当科では「Hand down outside-in 法を用いた全内視鏡下腰椎椎間板切除術の検討」という研究を倫理委員会の承認並びに院長の許可のもと、倫理指針及び法令を遵守して行います。この研究は、2020年4月1日から2022年4月30日までに日本医科大学付属病院整形外科・リウマチ外科にて、腰椎椎間板ヘルニアに対して全内視鏡下腰椎椎間板切除術(Hand-down outside-in 法)を施行された患者さんを調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただき、この掲示によるお知らせをもって実施いたします。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：Hand down outside-in 法を用いた全内視鏡下腰椎椎間板切除術の検討

研究期間：研究実施許可日～2024年2月28日

研究責任者：日本医科大学付属病院 整形外科・リウマチ外科 福原 大祐

(2) 研究の意義、目的について

腰椎椎間板ヘルニアに対する全内視鏡下腰椎椎間板切除術(Hand-down outside-in 法)の治療効果を明らかにすることを目的といたします。同治療法を検討している医師へ安全な手術方法を発信し、本研究の医学情報を蓄積することによって将来同治療法の有効性を検証することへの基盤となります。

(3) 研究の方法について(研究に用いる試料・情報の種類)

2020年4月1日から2022年4月30日までに日本医科大学付属病院整形外科・リウマチ外科にて、腰椎椎間板ヘルニアに対して全内視鏡下腰椎椎間板切除術(Hand-down outside-in 法)を施行された患者さんの術前術後の自覚症状、画像検査などを解析し、術前術後の比較を行います。この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。

試料：なし

情報：年齢、性別、手術時間、手術の部位、術中出血量、合併症、在院日数、腰痛・下肢痛の程度等

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用いたしません。また、研究発表時にも個人情報は使用いたしません。その他、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針(文部科学省・厚生労働省・経済産業省)」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表いたします。

(6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学付属病院 整形外科・リウマチ外科 助教・医員 福原 大祐

〒113-8603 東京都文京区千駄木1-1-5

電話番号：03-3822-2131(代表) 内線：24305

メールアドレス：d-fukuhara@nms.ac.jp